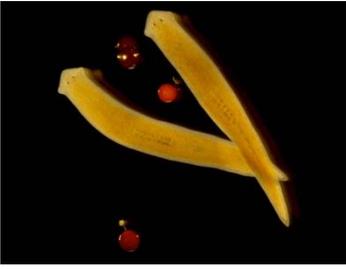


ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

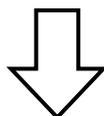
課題番号	19HT0072	分野	生物	キーワード	プラナリア、3倍体
研究機関名	慶應義塾大学				
プログラム名	プラナリアの生殖戦略—3倍体の有性生殖—				
先生(代表者)	松本 緑(まつもと みどり) 理工学部 生命情報学科・准教授				
自己紹介	こんにちは。 私は、プラナリアとクマムシを用いて、生殖の研究をしています。学生時代から、いろいろな生き物を扱ってきました。皆さんに、生き物の不思議さ、面白さを感じてもらいたいと思っています。				
開催日時・募集対象	2019年8月7日(水)	受講対象者	中学生	募集人数	20名
集合場所・時間	慶應義塾大学理工学部 矢上キャンパス		(集合時間)	10:00-10:30	
開催会場	慶應義塾大学理工学部 矢上キャンパス 32棟2階、創想館4階43、44 住所: 〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1 アクセスマップ URL: https://www.st.keio.ac.jp/about/access.html				
内 容					
<p>真核生物の出現とともに子供をつくる方法(生殖様式)として、有性生殖を獲得しました。有性生殖では性の異なる2個体のゲノムの混合が起こり、ゲノムの多様性が爆発的に増加します。しかし、これには生殖細胞の形成など特別なプロセスが必要となり、多大なエネルギーを要します。生物には、このような利点と欠点のうち、双方の良いところを利用して、生活環境に伴い、生殖コストが安い無性生殖とゲノムの多様性を生み出す有性生殖を切り替える生物が存在します。本プログラムでは、生物が多様な生殖様式を行い、効率よく子孫をつくり、多様性を維持していることを、プラナリアを例にとり、紹介します。</p>					
					
スケジュール			持 ち 物		
10:00-10:30 受付(矢上キャンパス 32棟)			<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・プラナリアや染色体の写真を撮りたい方はデジタルカメラまたはデジカメ付き携帯電話。 		
10:30-11:00 開校式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)					
11:00-11:30 講義 プラナリアってどんな生物?			特 記 事 項		
11:30-12:15 実習 プラナリアの観察 観察 虫の切断 エサやり					
12:15-13:00 昼休み 参加者からプラナリアについて質問を受けながら昼食をとる			<p>実験には染色液を用います。安全なものですが、洋服に飛ばすと、紫色のシミができます。汚れても気にならない服装で参加してください。</p> <p>参加にあたっては、保護者の同意が必要です。</p> <p>昼食は大学で用意しています。</p>		
13:00-13:30 講義 生殖様式について 無性生殖と有性生殖 体細胞分裂と減数分裂					
13:30-14:30 実習 染色体標本の作成と観察 ギムザ染色・標本観察					
14:30-15:00 講義 3倍体プラナリアの有性生殖					
15:00-15:30 休憩 クッキータイム 参加者から質問を受けるとともに、生き物たちが無性生殖と有性生殖を転換する意義について討論する					
15:30-16:00 研究内容の見学					
16:00-16:30 修了式 受講者がアンケートに記入 未来博士号の授与					
16:30 終了解散					

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	慶應義塾大学 理工学部 学術研究支援課 田中 芙由子(たなか ふゆこ)・長川 愛(ながかわ あい)
住所：	〒223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1
TEL 番号：	045-566-1470
FAX 番号：	045-566-1471
E-mail：	kakenhi-ygshien@adst.keio.ac.jp
申込締切日：	2019年 7月 17日 (水)
※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行います。 抽選結果は7月26日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
松本 緑	2018-2020	基盤 C	18K06352	3倍体プラナリアの有性生殖を可能にする減数分裂における染色体削減の雌雄差



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。